

# 教務通信 第3号(生徒から)

～誰もが学びとやりがいのある生活を～

令和6年 5月 14日(火)発行  
宮城県岩出山高等学校  
文責 教務部

## ○生徒に聞いてみた★

第一回考査までおよそ1か月となりました。1年生にとっては、高校の授業に慣れ、初めての考査です。2、3年生は、進路に直結する重要な考査ととらえていると思います。今回は、これまでの考査で優秀な成績を収めてきた生徒に、「考査や授業について意識していること」「勉強のコツや自分なりの取り組み」について聞いてみました。

生徒(学年)	考査・授業について意識していること	勉強のコツ・自分なりの取り組み
HAさん (3年生)	テスト1週間前から勉強を始める。早く始めすぎると忘れてしまう。苦手なものには最後に取り組むようにする。新しい記憶にしたいから。	スマホの問題アプリで各教科を勉強する。授業で近くの人やグループでしゃべると記憶に残って覚えやすい。書く勉強は時間がかかるから、見て勉強がわかりやすい。数学はとにかく問題を解き続ける。
MKさん (3年生)	特に直前だからといってたくさんは勉強しない。授業は真面目に参加。自分でやってわからないことはすぐ先生に聞く。どうしてもだめなら諦めることも大事。	数学は教わるやり方も大事だが、自分の解き方や考え方を大事にしている。プリント等はがっちり取り組んでいる。覚えたいものはもう一度まとめたりもする。
SMさん (3年生)	1週間前から本格的に対策を始める。あんまり早いと忘れちゃうことも。授業は先生が言ったことを書いておく。わからないことはノートの隅に書いて目立つようにしておく。	わからないところに重点を置いて取り組む。数学のワークなどはルーズリーフ等に何回も解き直す。
SSさん (2年生)	全ての授業でその場で記憶していく。特に英語。考査対策は1ヶ月前から。	その日のうちに復習する。ワーク・プリント等を毎日復習。ノートのメモは赤ペンで。赤シート勉強できるように。
GRさん (2年生)	授業で記憶に残るように工夫。テスト勉強は1、2週間前から。正直結構直前。	記憶に残るように、声に出す、話す、書く。人に教える(特に数学)。わかりやすく教えること、自分のやり方と違うやりかたでも教えないといけないからためになるのかもしれない。
SHさん (2年生)	ノートにはどんどんメモ。考えて授業に参加している。難しそうなのはノートに書いて覚えておくようにしている。	ひたすら書く勉強法。英単語を覚えたときもひたすら書いた。自分でテストを作ったりもした。タブレットとかスマホをしながら勉強することはない。
HNさん (2年生)	本格的な勉強は部活が休みになる考査1週間前から。本当にわからないことは先生にすぐに聞く。	わかるまで解き続ける。プリントをスマホで撮って塗りつぶしたりして勉強。電車でもできる。
KHさん (2年生)	大事なことは黒板に書いてなくてもどんどんメモ。めっちゃめっちゃ勉強。部活が休みになってから考査対策。	家ではあまり集中できないから、学校で勉強。友達と勉強して、教えて、伝わると自信になる。
OHさん (2年生)	授業ではとにかくしっかり聞いて頭に入れる。1週間前からだと部活も休みなので本格始動。	苦手なものに特に時間を割く。とにかくワークやプリントなどの問題を何度もやる。公式など暗記したいものは青ペンでたくさん書いて覚える。
HMさん (学生時代)	短期集中型だったのでテスト前期間からスクランブル始動。TVやスマホは完全に絶って勉強していた。	スマホが気になってしまうので、勉強している手元が映る動画を流すと誰かと一緒に勉強している気持ちになって頑張れた。お気に入りの青ペン1本を使い切るまで書いて勉強した。

KYさん (学生時代)	苦手科目の英語、数学を優先した。とにかく重要だと思う物から取り組んだ。理科や社会は授業で理解しておいた。テストは詰め込んだものを吐き出す場！	英語は日本語訳と英文を頭にたたき込む。その後音読して英文を覚え込む。理科や社会はたくさん問題を解くためにも問題集を買ったりもした。
MMさん (学生時代)	ノートにたくさんメモを取る！先生の言葉の聞き漏らしがなくらい集中して授業を受ける。わからなかったらその日のうちに解決。授業ではたくさん発言+アウトプットで覚えていた。	ひたすら書く。暗記科目は青ペンで。数学は解いたものを復習できるようにボールペンで書いて、2回同じミスがないように、なぜ間違えたのかを解説を見ないで自力で答えにたどりつくようにしていた。
OTさん (学生時代)	テストは、スピードを意識してわからないものは飛ばして1回解く。2回目は少しじっくりで全部解答。迷ったら最初の答えは変えない。授業は、何でもメモ。ペンでしかメモしなかった。大事な物は目立つようにメモ。	暗記科目は自分で問題を作って赤ペン、赤シートで勉強。声に出して読んだり、歩きながら読んだりした。考查前は夜よりも早朝勉強で、朝に3時間勉強してから学校に行った。放課後は残って勉強。

想像以上にそれぞれの生徒たちはスタイルやこだわりを持っていました。これが高校でも成績を伸ばしたり、キープしたりしている理由なのかと思います。進路活動についても期待が持てると個人的に思っています。

## ○高校での学びと将来

この文章を読んでいただいているみなさん、高校での勉強って何のためにあると思いますか???

「高校での勉強は進路達成のため」「単位を取るために勉強」「はずかしくないように勉強」「親に迷惑をかけないために」「勉強は、しなければいけないものだから」、といろいろあるかと思います。考え方、とらえ方は千差万別かと思えます。

### ～考え方・とらえ方～

- ・将来に選択肢を残すために、今何ができるか？それを考えるのと、試すのが今です。
- ・『頭がいい』=『脳のいい状態』。目の前の問題が簡単に解決できるし、未来を楽しく創り出していくことができる。すっきりと気分もいい。そんな状態のときをどんどん増やしていくにはどうしたらいいか？
- ・勉強は自分を広げてくれる。勉強をして損はない。何かのときに自分が培ってきた力を活用して、強く生きていけるようにする。→勉強
- ・『学校の一員としてやっていく』=『社会という場で生きていくための練習、予行演習』
- ・受験は戦略・戦術を考えよう。自分にあったやり方だと疲れない。自分らしい戦術は一生使えるものになる。
- ・中高生というのは、『好きなこと』と『やらなければいけないこと=勉強』の狭間で苦しむことが多い時期。好きではないこともやるから、好きなことがいっそう楽しくなる。ならば、やってみよう。勉強。
- ・思う存分取り組んだことが成功体験として自分の中に残っていく。自分の中にゾーンと呼ばれる没頭感覚があるから、成功の回路ができる。スポーツ場面で体験した生徒はいるかもしれない。勉強でも体験を。

岩高生には、広い視野を持ち、得意なものを楽しみ、苦手なものに立ち向かい、自分の人生に没頭してほしいものです。高校での考查や学校生活での成長と変化に期待します。

●次回のトピック：「考查直前には？(生徒・教員の声)」